



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 アコム株式会社

コード番号 8572 URL <https://www.acom.co.jp/corp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 政孝

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 岡本 貴史 (TEL) 03-6865-6474

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (国内機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	204,060	3.6	70,646	17.8	70,766	16.9	44,333	△4.8
2022年3月期第3四半期	196,922	△2.0	59,963	△26.8	60,519	△27.0	46,584	△29.6

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 60,520百万円( 33.8%) 2022年3月期第3四半期 45,227百万円( △28.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	28.30	—
2022年3月期第3四半期	29.74	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,293,746	608,949	44.1
2022年3月期	1,263,296	563,963	42.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 571,054百万円 2022年3月期 531,880百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
2023年3月期	—	5.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	268,300	2.3	87,900	152.7	88,200	148.9	62,400	12.1
								円 銭
								39.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	1,566,614,098株	2022年3月期	1,566,614,098株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	50株	2022年3月期	50株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	1,566,614,048株	2022年3月期3Q	1,566,614,098株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2023年1月31日（火）に国内機関投資家・アナリスト向けにWeb会議を開催する予定です。なお、このWeb会議で使用する決算補足説明資料は、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
3. [参考] 四半期財務諸表(個別) .....	10
(1) [参考] 四半期貸借対照表(個別) .....	10
(2) [参考] 四半期損益計算書(個別) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症への対策や各種政策により社会経済活動の正常化が進み、景気は持ち直しの傾向にあります。しかし、世界的な資源価格の高騰や国際情勢の緊迫、円安の急進などもあり、物価上昇による個人消費の落ち込みが懸念されることから、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、海外においては国ごとに状況は異なりますが、タイ王国においては新型コロナウイルス感染症の沈静化を背景に、個人消費の拡大による景気持ち直しの動きが見られました。フィリピン共和国においても同様の状況であるものの、インフレの高進によって個人消費の拡大に鈍化が見られました。

国内のノンバンク業界においても、資金需要に持ち直しの動きが見られるものの、国内経済同様に先行き不透明な状況が続いております。また、利息返還請求件数については減少傾向が続いておりますが、外部環境の変化等の影響を受けやすいことから、引き続き動向に留意する必要があります。

このような中、当社グループは、お客さまや従業員の安全に配慮しつつ営業活動を継続するとともに、お客さまからの返済相談等に対して柔軟かつ丁寧に対応してまいりました。

当社グループは、2023年3月期を初年度とする新中期経営計画を策定いたしました。これを機に、各ステークホルダーへの約束をビジョンとして掲げ、このビジョンの実現に向け3年間で取り組むことを中期方針として定めました。コロナ禍を始めとする外部環境の変化に対応しつつ、ビジョンや中期方針に沿った営業活動を引き続き推進してまいります。また、当社は2022年12月に本社を東京都千代田区から港区へ移転いたしました。働きやすい職場環境の構築とコミュニケーションの更なる活性化を通じて、本社機能の強化にも努めてまいります。

当第3四半期連結累計期間における営業収益は、営業貸付金の増加や円安の為替影響により営業貸付金利息が増加したこと等を主因に、2,040億6千万円（前年同期比3.6%増）となりました。また、営業費用は、前年の利息返還損失引当金繰入額の計上（前年同期76億円）が剥落したこと等により、1,334億1千4百万円（前年同期比2.6%減）となりました。その結果、営業利益は706億4千6百万円（前年同期比17.8%増）、経常利益は707億6千6百万円（前年同期比16.9%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等調整額の増加を主因に443億3千3百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末に比べ総資産は304億4千9百万円の増加、純資産は449億8千5百万円の増加となりました。資産、負債、純資産の増減状況は次のとおりであります。

### (資産の部)

資産の部については、流動資産が453億4千5百万円の増加、固定資産が148億9千6百万円の減少となり、資産合計では304億4千9百万円の増加となりました。流動資産の主な増加内容は、営業貸付金(378億8千8百万円)、割賦売掛金(113億5千3百万円)などです。なお、営業貸付金の増加要因には為替影響が含まれております。固定資産の主な減少内容は、繰延税金資産(105億4千8百万円)、本社移転に伴う用途変更により減損損失を計上したことなどによる器具備品の減少(33億3千9百万円)などです。また、流動資産と固定資産に計上している貸倒引当金は、合計で34億6千万円の増加となりました。

### (負債の部)

負債の部については、流動負債が56億2千1百万円の増加、固定負債が201億5千8百万円の減少となり、負債合計では145億3千6百万円の減少となりました。主な増減内容は、利息返還損失引当金(215億2千9百万円)、未払法人税等(106億1千5百万円)などの減少、借入金・社債などの資金調達残高(173億4百万円)などの増加であります。

### (純資産の部)

純資産の部については、利益剰余金の増加により株主資本が302億3千3百万円の増加、為替換算調整勘定の増加などによりその他の包括利益累計額が89億3千9百万円の増加、非支配株主持分が58億1千2百万円の増加となり、純資産合計では449億8千5百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は2.0ポイント増加し44.1%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の通期連結業績見通しにつきましては、2022年5月13日に公表いたしましたとおり、営業収益2,683億円、経常利益882億円、親会社株主に帰属する当期純利益624億円を見込んでおります。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報等に基づいて作成したものであります。しかしながら、当社グループの事業展開上リスクとなる可能性がある要素が複数存在しております。特に新型コロナウイルス感染症拡大の影響により停滞している経済活動が、回復することを前提に計画を策定しております。そのため、実際の業績等は異なる可能性があります。

また、利息返還請求の動向は、外部環境の変化等に影響を受けやすいことから特に不確実性が高く、その影響として利息返還損失引当金繰入額を計上する場合があります。

最終の業績はこれらのリスクを含むさまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	74,242	71,368
営業貸付金	975,282	1,013,170
割賦売掛金	88,640	99,993
買取債権	7,988	7,641
その他	85,479	88,318
貸倒引当金	△77,632	△81,148
流動資産合計	1,153,999	1,199,345
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,451	3,280
器具備品(純額)	7,589	4,250
土地	1,351	—
その他(純額)	198	74
有形固定資産合計	12,590	7,606
無形固定資産		
のれん	1,252	863
ソフトウェア	5,856	6,715
その他	43	43
無形固定資産合計	7,152	7,623
投資その他の資産		
投資有価証券	1,238	1,363
退職給付に係る資産	5,986	6,440
繰延税金資産	73,961	63,412
差入保証金	5,133	4,785
その他	3,970	3,851
貸倒引当金	△737	△683
投資その他の資産合計	89,553	79,170
固定資産合計	109,296	94,400
資産合計	1,263,296	1,293,746

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	797	534
短期借入金	15,284	30,164
コマーシャル・ペーパー	24,999	44,997
1年内返済予定の長期借入金	94,429	90,558
1年内償還予定の社債	58,720	43,810
未払法人税等	13,648	3,033
債務保証損失引当金	8,873	8,920
資産除去債務	611	47
割賦利益繰延	25	21
その他	12,965	13,888
流動負債合計	230,355	235,976
固定負債		
社債	119,010	105,527
長期借入金	257,899	272,589
利息返還損失引当金	86,200	64,670
退職給付に係る負債	784	935
資産除去債務	4,779	4,881
その他	305	214
固定負債合計	468,978	448,820
負債合計	699,333	684,797
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	63,832	63,832
資本剰余金	69,861	69,861
利益剰余金	393,163	423,397
自己株式	△0	△0
株主資本合計	526,857	557,090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	4,306	13,304
退職給付に係る調整累計額	716	658
その他の包括利益累計額合計	5,023	13,963
非支配株主持分	32,082	37,894
純資産合計	563,963	608,949
負債純資産合計	1,263,296	1,293,746

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
<b>営業収益</b>		
営業貸付金利息	123,061	126,062
包括信用購入あっせん収益	8,062	9,135
個別信用購入あっせん収益	49	49
信用保証収益	40,131	42,183
買取債権回収高	3,385	3,343
その他の金融収益	35	207
その他の営業収益	22,195	23,079
<b>営業収益合計</b>	<b>196,922</b>	<b>204,060</b>
<b>営業費用</b>		
金融費用	4,050	3,014
債権買取原価	1,253	1,169
その他の営業費用	131,654	129,230
<b>営業費用合計</b>	<b>136,959</b>	<b>133,414</b>
<b>営業利益</b>	<b>59,963</b>	<b>70,646</b>
<b>営業外収益</b>		
受取利息	1	1
受取配当金	13	25
持分法による投資利益	27	20
受取家賃	134	139
助成金収入	363	—
その他	37	60
<b>営業外収益合計</b>	<b>578</b>	<b>248</b>
<b>営業外費用</b>		
支払利息	6	1
為替差損	11	114
その他	4	12
<b>営業外費用合計</b>	<b>22</b>	<b>127</b>
<b>経常利益</b>	<b>60,519</b>	<b>70,766</b>



(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	25	1,117
特別利益合計	25	1,117
特別損失		
固定資産売却損	53	67
固定資産除却損	98	175
減損損失	1,100	3,523
その他	1	2
特別損失合計	1,253	3,769
税金等調整前四半期純利益	59,291	68,114
法人税、住民税及び事業税	7,421	9,213
法人税等調整額	2,437	10,976
法人税等合計	9,858	20,189
四半期純利益	49,432	47,925
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,848	3,591
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,584	44,333

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	49,432	47,925
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	△4,228	12,649
退職給付に係る調整額	22	△54
その他の包括利益合計	△4,205	12,595
四半期包括利益	45,227	60,520
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43,602	53,272
非支配株主に係る四半期包括利益	1,625	7,247

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 3. [参考] 四半期財務諸表 (個別)

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

## (1) [参考] 四半期貸借対照表 (個別)

(単位:百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	69,334	67,471
営業貸付金	783,155	795,987
割賦売掛金	87,962	99,316
求償債権	54,519	56,965
その他	18,291	18,008
貸倒引当金	△56,600	△59,640
流動資産合計	956,664	978,109
固定資産		
有形固定資産	11,705	6,808
無形固定資産	6,928	7,331
投資その他の資産		
繰延税金資産	75,717	66,532
前払年金費用	4,750	5,271
その他	25,447	24,323
貸倒引当金	△700	△660
投資その他の資産合計	105,215	95,468
固定資産合計	123,849	109,608
資産合計	1,080,514	1,087,717
負債の部		
流動負債		
買掛金	784	530
短期借入金	5,000	10,000
コマーシャル・ペーパー	24,999	44,997
1年内返済予定の長期借入金	86,540	76,512
1年内償還予定の社債	45,000	40,000
未払法人税等	11,087	1,380
債務保証損失引当金	8,010	8,020
資産除去債務	611	45
その他	10,517	11,409
流動負債合計	192,551	192,896
固定負債		
社債	95,000	80,000
長期借入金	240,461	256,979
利息返還損失引当金	86,200	64,670
資産除去債務	4,545	4,622
その他	225	174
固定負債合計	426,431	406,446
負債合計	618,982	599,343
純資産の部		
株主資本		
資本金	63,832	63,832
資本剰余金	72,322	72,322
利益剰余金	325,375	352,218
自己株式	△0	△0
株主資本合計	461,531	488,374
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	0
評価・換算差額等合計	0	0
純資産合計	461,531	488,374
負債純資産合計	1,080,514	1,087,717

## (2) [参考] 四半期損益計算書(個別)

第3四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業収益		
営業貸付金利息	88,308	88,597
包括信用購入あっせん収益	8,062	9,135
信用保証収益	32,581	34,435
その他の金融収益	32	104
その他の営業収益	17,265	17,753
営業収益合計	146,249	150,025
営業費用		
金融費用	2,523	1,973
その他の営業費用	100,158	96,845
営業費用合計	102,681	98,818
営業利益	43,568	51,206
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	5,736	7,444
その他	488	202
営業外収益合計	6,226	7,647
営業外費用		
支払利息	6	1
為替差損	10	117
その他	3	9
営業外費用合計	20	127
経常利益	49,774	58,726
特別利益		
固定資産売却益	24	1,115
特別利益合計	24	1,115
特別損失		
固定資産売却損	53	67
固定資産除却損	93	169
減損損失	1,100	3,523
関係会社株式評価損	—	1,190
その他	1	2
特別損失合計	1,247	4,953
税引前四半期純利益	48,551	54,889
法人税、住民税及び事業税	3,585	4,761
法人税等調整額	2,181	9,185
法人税等合計	5,766	13,946
四半期純利益	42,784	40,942